

【提出様式集】見積書(任意様式)作成ポイント

【任意様式】見積書＜本実証事業に係る見積書の作成ポイント＞

作成要領

実証を支援いただくにあたり、実態に即し、費用が発生する場合は、以下の内容を踏まえ、「本実証見積書」(任意様式)の作成・提出をお願いします。

- 本実証事業に係る見積書は、①宛先(宮崎県庁宛)、②御社名、③実証事業名、④本実証見積額(内訳含む)の4点を記入ください。
- **1実証事業あたりの予算規模は100万円(税抜)程度を上限の目安として想定しています。**
ただし、次年度の予算化等の可能性を踏まえ、**無償又は低廉な費用で実現可能な提案も受け付けます。**(無償の場合は本実証事業に係る見積書の作成は不要です。)

本実証に係る 見積イメージ

宮崎県庁 御中

概算見積書

XXX株式会社
住所
担当者情報

下記のとおり、本実証事業に係る見積を提出します。

件名:XXXXXXXX <提案いただく実証事業名を記載>

	内訳イメージ	金額
項 目 例	1. XXXX(ICTツール)の利用料 (月額〇〇〇〇円×2か月)	100,000円
	2. 実証期間の実装支援/サポート (技術者1名〇〇〇〇円×8時間/日×20日)	500,000円
	3. 実証報告(実証内容、結果、課題整理等)レポート作成	300,000円
	合計(税抜)	900,000円
	合計(税込)	990,000円

【任意様式】見積書<本番導入に係る概算見積書の作成ポイント>

作成要領

本実証の結果が有用だった場合、次年度(令和9年度)本番導入を進める想定です。その際の参考として、「本番導入に係る概算見積」の作成をお願いします。

- 本番導入に係る概算見積は、①宛先(宮崎県庁宛)、②貴社名、③実証事業名、④本番導入に係る概算見積(内訳含む)の4点を記入ください。
- 本番導入に係る概算見積内訳では、実証で活用したICTツールの開発・構築費、データ移行、テスト、ICTツール利用料、運用・保守等、必要と思われる費用を計上してください。(期間:令和9年4月~令和10年3月で算出ください)
- 令和8年8~9月ごろ、業務ボリューム等も含め詳細情報を基に、改めて、概算見積の作成を依頼予定)

宮崎県庁 御中

概算見積書

XXX株式会社
住所
担当者情報

下記のとおり、概算見積を提出します。

件名:XXXXXX<提案いただく実証事業名を記載>

本番導入に係る 概算見積イメージ

	内訳イメージ	金額
項目例	1. XXXX(導入ICTツール)の開発、構築支援(要件定義支援含む) (技術者1名〇〇〇〇円×8時間/日×90日)	20,000,000円
	2. XXXX(導入ICTツール)のリリースに向けたデータ移行 (データ量〇〇〇、技術者1名〇〇〇〇円×4時間/日×15日)	1,500,000円
	3. XXXX(ICTツール)の利用料 (月額〇〇〇〇円×6か月)	500,000円
	4. 運用・保守 (技術者1名〇〇〇〇円×6か月)	2,000,000円
	合計(税抜)	24,000,000円
	合計(税込)	26,400,000円